

## 質 問 書

※ この MS-WORD 文書のまま送付お願いいたします。(PDF 等のフォーマットへ変換しないでください)

2020 年 10 月 28 日

「コソボ国公共放送局能力向上プロジェクトフェーズ2」

(公示日:2020 年 10 月 14 日/公示番号:20a00407)について、質問と回答は以下の通りです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	企画競争説明書 P10 第 2 プロポーザル作成にかかる 留意事項 1) 業務実施の基本方 針	現時点で、現地渡航はいつ頃可能になると想定 すべきか、JICA のお考えをお聞かせください。	現時点で、現地渡航が可能になる時期について 具体的な見通しはございません。企画競争説明 書 P10 に記載のとおり、プロポーザル及び見積も りは、1 月以降現地渡航が可能になる前提で作 成ください。なお、現地渡航がコロナ禍の影響で 当初予定から延期せざるを得ない場合は、必要 に応じて契約変更で対応します。
2	企画競争説明書 P5 b) 現地再委託費 2,000 千円(ベー スライン・エンドライン調査の合計 額)	コソボで過去に実施した同様の調査では、1 件で 235 万円かかりました。本件はベースライン・エン ドラインの調査 2 件で予算 200 万円とすると、 実績の半額以下の予算のため、調査の質を維持 して実施することは困難です。調査の質を維持 するため、予算の増額は可能ですか？	現地再委託費の定額見積額を増額します。以下 の金額を定額で計上してください。  b) 現地再委託費:4,000 千円(ベースライン調査 及びエンドライン調査の合計額)
3	企画競争説明書 P16 3) 成果 3 に 関する活動	「3-2:分析に基づきデジタルアーカイブスシステ ムがアップグレードする」とありますが、このデジ タルアーカイブスのアップグレード費用はどうす べきか、ご指示をお願いします。	見積もりへの計上は不要です。現時点では、デジ タルアーカイブスのアップグレード費用をプロジェ クトが負担することは想定しておりません。しか し、分析の結果、プロジェクトによる費用負担が 必要かつ妥当と判断された場合は、発注者と受 注者間で協議の上、必要に応じて契約変更によ

			る対応を検討します。
4	企画競争説明書 P5 d)支局の供与機材購入費 配布資料 2 支局機材リスト	P5「支局の供与機材購入費:(64,200 千円)」とありますが、この金額では『RTK より提出された要請機材リスト』にある2支局分の機材を調達するのは困難、と思料いたします。予算の増額は可能ですか？	記載した金額(64,200 千円)を定額計上してください。企画競争説明書 P22(2)3)記載のとおり、RTK が提示した機材要請リストをベースとして RTK、JICA と協議の上、調達する機材を決定することとしており、リストの全ての機材を調達することは想定しておりません。ただし、協議の結果、必要かつ妥当と認められる機材の概算額が定額を越える場合は、発注者と受注者間の協議の上、必要に応じて契約変更による対応を検討します。
5	企画競争説明書 P22(2)3)支局の機材調達	供与機材調達は受注者が、機材の選定・入札図書作成・調達・機材納入まで請け負うとありますが、『コンサルタント等契約における物品・機材の調達・管理ガイドライン』によると、それを適用するのは、調達金額 1,500 万円を上限とするとあります。本案件の供与機材の予定金額は 6,420 万円とこの上限をこえるため、『受注者は入札図書作成までを請け負い、それ以降の入札・調達・機材納入は JICA 調達部で行う。』と変更していただくことは可能ですか？	現在、機材調達にかかる暫定的な運用として、業務の全体的な効率性等を勘案し、受注者に調達いただくことが適当であると判断した場合には、1500 万円を超える委託も可能としております。本案件では、受注者の履行業務と一体化して機材を調達することが事業全体の効率・効果の確保に必要と判断しました。そのため、企画競争説明書 P26「業務従事者の構成(案)」に記載の通り、業務従事者に「入札補助」担当を含むことを想定しています。当該業務に対応するため、必要に応じて共同企業体の結成、補強の配置を認めます。

以上